
令和7年度予算第二特別委員会質問要旨

○ 局別審査

令和7年2月25日

質問者（質問順）

- 1 福地 茂 委員（自民党）
- 2 関 勝則 委員（自民党）
- 3 行田 朝仁 委員（公明党）
- 4 田中 ゆき 委員（立憲党）
- 5 いそべ 尚哉 委員（維新会）
- 6 古谷 靖彦 委員（共産党）
- 7 坂本 勝司 委員（民主フ）

水道局

局 別 審 査

1 福 地 茂 委員（自民党）

1 令和7年度予算編成について

- (1) 令和7年度予算編成の基本的な考え方について伺いたい。
- (2) 令和7年度予算において重視する取組について伺いたい。
- (要望) 水道は生活に欠かせない重要なインフラのため、将来にわたって安定給水を続けていくために、しっかりと尽力いただきたい。

2 新たな漏水補修方法の開発について

- (1) 本市でこれまでに発生した水道管の大きな事故について伺いたい。
- (2) 水道管の事故時の修理方法について伺いたい。
- (3) これまでの漏水補修の課題について伺いたい。
- (4) 漏水補修の改善方法について伺いたい。
- (5) 漏水補修金具の普及に向けた取組について伺いたい。

3 衛星画像を活用した漏水探知技術について

- (1) 衛星画像を活用した漏水探知技術の概要について伺いたい。
- (2) 導入により期待する効果について伺いたい。
- (3) 今後の進め方について伺いたい。
- (要望) 様々な機会をとらえ、新たな調査方法や技術を導入し、活用を図ることで、市民生活の安全・安心に寄与していただきたい。

4 AIを活用した最適な管路更新計画策定について

- (1) 送配水管の更新計画の考え方について伺いたい。
- (2) AIを活用した最適な更新計画策定の取組内容について伺いたい。
- (3) AIの活用方法について伺いたい。
- (4) AIを導入することにより期待できる効果について伺いたい。

(要望) 引き続き、A Iにより最適な更新計画の策定を進め、定量的な評価によって市民への説明責任をしっかりと果たし、限られた財源の中で効率的・効果的に管路の更新を進めていただきたい。

5 設備の維持管理の取組について

(1) 設備の維持管理方法について伺いたい。

(2) 設備事故が発生した際の対応について伺いたい。

(3) 配水ポンプ場の遠隔巡視の効果について伺いたい。

(4) 設備の維持管理レベルを確保し、将来にわたって安定給水を守っていくべきと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 横浜の市民生活を支える水道を安定して供給するために、責任をもって設備の維持管理に取り組んでいただきたい。

6 持続可能な水道事業経営について

(1) 局全体のD Xの取組等の共有について伺いたい。

(2) 持続可能な水道事業経営を行っていくことに対する決意について伺いたい。

1 地震災害への対応について

- (1) 災害対策としての管路耐震化の評価について伺いたい。
 - (2) 能登半島地震の復旧における上下水道の連携について伺いたい。
 - (3) 上下水道一体で進める耐震化の考え方について伺いたい。
 - (4) 重要施設につながる管路の早期の整備を目指すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 水道局と下水道河川局で緊密に連携しながら、災害対応力の一層の強化をしていただきたい。

2 水道施設のアセットマネジメント推進について

- (1) マンホール鉄蓋などの管路附属設備の予防保全の取組について伺いたい。
 - (2) マンホール鉄蓋の効率的な更新方法について伺いたい。
 - (3) マンホール鉄蓋の効率的な予防保全に向けた取組について伺いたい。
- (要望) 事故を未然に防ぐためにも、新技術を積極的に導入するなど、水道施設のアセットマネジメントにしっかりと取り組んでいただきたい。

3 給水管の地震対策について

- (1) 給水管の耐震性強化の取組について伺いたい。
 - (2) 水道メーターから蛇口側を含む給水管全体の耐震性強化を進める上での課題について伺いたい。
 - (3) 給水管の耐震性強化を進めるための対策について伺いたい。
 - (4) 自宅で水道を使用するための新たな対応策について伺いたい。
- (要望) 実行性の高い取組となるよう周知するとともに、従来から取り組んでいる老朽給水管の耐震更新強化についても、引き続き積極的に取り組んでいただきたい。

4 水道施設の整備に関わる広域連携について

- (1) 神奈川県内広域水道企業団を設立した経緯について伺いたい。
 - (2) 広域連携による水道システム再構築の意義について伺いたい。
 - (3) 水道システム再構築に向けた今後の取組について伺いたい。
- (要望) 引き続き、事業の進捗などについて、市民や議会にも適宜報告していただきたい。

5 アフリカへの国際貢献事業について

- (1) これまでのアフリカへの国際貢献の実績について伺いたい。
- (2) 近年の具体的取組と所感について伺いたい。
- (3) アフリカへの国際貢献の今後の考え方について伺いたい。

3 行 田 朝 仁 委 員 (公 明 党)

1 災害時給水所の整備について

- (1) 災害時における飲料水の確保水量について伺いたい。
 - (2) 災害時給水所の整備の考え方及び整備状況について伺いたい。
 - (3) 災害時給水所を自宅から概ね500メートル圏内に整備した理由について伺いたい。
 - (4) 既存の災害用地下給水タンクと緊急給水栓の課題について伺いたい。
 - (5) 既存の災害用地下給水タンクと緊急給水栓の対策について伺いたい。
 - (6) 耐震給水栓の整備状況と今後の予定について伺いたい。
 - (7) 耐震給水栓の整備の課題について伺いたい。
 - (8) 耐震給水栓の整備を進めていくための対策について伺いたい。
 - (9) 耐震給水栓を地域防災拠点以外の公共施設に整備すべきと考えるが、見解を伺いたい。
 - (10) 制度上の水道局以外による耐震給水栓の設置の可否について伺いたい。
 - (11) 耐震給水栓の整備は、オール横浜で取り組むべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 大規模な災害に直面した場合でも、確実に水が行き渡る体制が構築できるよう、オール横浜で英知を結集して進めていただきたい。

2 送配水管の更新・耐震化について

- (1) 管路の更新の進め方について伺いたい。
 - (2) 送配水管の耐震化状況について伺いたい。
 - (3) 更新・耐震化を進める上での課題について伺いたい。
 - (4) 将来にわたる管路の更新・耐震化の考え方について伺いたい。
- (要望) 市民生活や経済活動を支えるための重要な取組として、着実な更新・耐震化を継続していただきたい。

3 水道事業の経営について

- (1) 「人口減少時代の水道料金 全国推計」の推計結果の受け止めについて伺いたい。
 - (2) 附帯意見で付された財政収支の検証について伺いたい。
 - (3) 令和7年度予算を踏まえた財政収支の見通しについて伺いたい。
 - (4) 物価上昇の状況についての認識について伺いたい。
 - (5) 資金不足が見込まれる中での水道事業の経営について伺いたい。
 - (6) これからの水道事業の経営にあたっては、水道施設の整備や経営状況について、より積極的に市民に情報発信し、理解を得ていくことが不可欠と考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 今後も事業を着実に進め、市民や議会への情報提供を適宜適切な時期に行うとともに、経営努力を徹底していただきたい。

1 有機フッ素化合物への対策について

（１）市民への不安の広がりに対する受け止めについて伺いたい。

（２）測定対象項目に15項目を選んだ理由について伺いたい。

（３）検査結果をより低い値で市民に示していくべきと考えるが、見解を伺いたい。

（要望）様々な課題があるとのことだが、できる限り低い値まで検査を実施し、その結果を公表していただきたい。

（４）国の責任として、水質基準値を厳しくし、要検討項目に目標値を設定するよう自治体から働きかけていくべきと考えるが、見解を伺いたい。

（要望）全国民の健康被害を未然に防ぐためにも、水質基準の引き下げや要検討項目への目標設定を早急に行うよう、国へ強く働きかけていただきたい。

2 脱炭素の推進に向けた取組状況について

（１）太陽光発電導入に向けた取組状況について伺いたい。

（２）フィールド提供の調整状況について伺いたい。

（要望）世界が注目する本市発の新技术、ペロブスカイト太陽電池を他都市に先んじて水道施設に導入いただきたい。

（３）新たな小水力発電の導入可能性について伺いたい。

（要望）小水力発電は、再生可能エネルギーの創出に大きな効果が期待できるため、積極的に導入していただきたい。

（４）目標達成に向けた取組について伺いたい。

3 効率的な執行体制の構築について

（１）業務実態調査の方法について伺いたい。

（２）職員が主体的に参加するための取組について伺いたい。

（要望）現場職員の声を大切にしながら、過度な負担とならないように取組を力強く推進していただきたい。

4 医療機関につながる管路の耐震化について

(1) これまでの重要拠点施設につながる管路の耐震化について伺いたい。

(2) 医療機関につながる管路の耐震化状況について伺いたい。

(3) 今後の医療機関につながる管路の耐震化の計画について伺いたい。

(要望) よりスピード感を持って、医療機関につながる管路の耐震化を進めていただきたい。

5 給水管の更新・耐震性強化について

(1) 市民が工事事業者の情報をどのように得られるのか伺いたい。

(要望) 市民がこれらの情報を必要とするときに、簡単にアクセスできて工事事業者につながることのできるよう、情報の発信、環境の整備をしていただきたい。

(2) 老朽給水管改良促進事業の利用状況について伺いたい。

(3) 市民に更新・耐震性強化の重要性や老朽給水管改良促進事業を積極的に情報発信していくことが重要と考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 市民が継続して水道を利用できるよう、主体的に給水管の更新や耐震性強化に取り組める広報・啓発をしていただきたい。

6 防災の取組と市民への備蓄啓発について

(1) 新たな被害想定を踏まえた防災の取組について伺いたい。

(2) 災害時における水の備蓄に関する啓発についての見解を伺いたい。

(要望) 市民に被害想定等をわかりやすく伝え、備蓄といった自助の取組の推進にもつなげていただきたい。

1 水道スマートメーターの導入について

- (1) 全戸導入に向けたスケジュールについて伺いたい。
- (2) 全域展開に向けた現時点での課題について伺いたい。
- (3) 導入コスト削減に向けた取組について伺いたい。

2 官民連携による災害時の応急給水について

- (1) 水道局で取り組んでいる官民連携について伺いたい。
- (2) 今後の応急給水に関する官民連携についての見解を伺いたい。

3 施設の維持管理の強化とアセットマネジメントの推進について

- (1) 配水池におけるこれまでのアセットマネジメントの取組内容について伺いたい。
- (2) 配水池における今後のアセットマネジメントの取組内容について伺いたい。
- (3) 水道管路の維持管理方法について伺いたい。
- (4) 水道施設の維持管理データの管理方法について伺いたい。
- (5) 水道施設の管理データの今後の活用方法について伺いたい。

4 健全な財政運営について

- (1) 企業債発行の考え方について伺いたい。
- (2) 財政の健全性を踏まえた今後の財政運営について伺いたい。

1 送配水管の更新について

- (1) 耐用年数を超えた送配水管の状況について伺いたい。
- (2) 法定耐用年数と想定耐用年数の違いについて伺いたい。
- (3) いつまでに更新するのか伺いたい。

2 老朽給水管の更新について

- (1) 市内の給水管の老朽化状況について伺いたい。
 - (2) 老朽給水管改良促進事業への応募状況の件数に対する認識について伺いたい。
 - (3) 老朽給水管改良促進事業の申込を増やすべきと考えるが、見解を伺いたい。
 - (4) 1件当たりの工事費が10年前に比べて約4倍となっているため、事業の啓発をすると予算不足になると考えるが、見解を伺いたい。
 - (5) 能登半島地震を受け、これまで以上に老朽給水管改良促進事業を強化するため、予算の拡充など何らかの改善をすべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 課題解決に向けて、何らかの工夫が必要であるため、ぜひ検討していただきたい。

3 水管橋の維持管理について

- (1) 現在の市内水管橋の耐震性の状況について伺いたい。
- (2) 水管橋の維持管理方法について伺いたい。
- (3) 状態監視で確実に安全性が担保できるのか伺いたい。
- (4) 基準をつくり計画的な更新を進めるべきと考えるが、見解を伺いたい。

4 その他

- (1) 埼玉県所沢市の水道管破裂事故を受けた対応について伺いたい。
 - (2) 埼玉県八潮市及び所沢市の事故事例を受けた今後の対応策について伺いたい。
- (要望) 財政状況は大変厳しいと考えるが、適切に維持管理をしていただきたい。

7 坂本勝司委員（民主フ）

1 能登半島地震を踏まえた飲料水確保の強化について

- (1) 能登半島地震における水道局の災害支援について伺いたい。
- (2) 災害用組立式仮設タンクの配備計画について伺いたい。

2 道志水源林間伐材の有効活用について

- (1) 間伐材の更なる活用に向けた検討状況について伺いたい。
 - (2) 間伐材を活用して財源確保を進めるべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 林地残材の低コストの集積方法や、木質バイオマス発電の検討、間伐材の民間活用など、課題は多いと考えるが、新たな財源創出に向けて取り組んでいただきたい。

3 GREEN×EXPO 2027の水道局の取組について

- (1) GREEN×EXPO 2027開催に向けた水道局の取組について伺いたい。
 - (2) GREEN×EXPO 2027会場での横浜水道のPRについて伺いたい。
- (要望) 横浜の水道水をPRするよい機会であり、水道局としてポスターの作製を検討していただきたい。

4 障害者就労施設等からの優先調達について

- (1) 令和7年度の障害者就労施設等からの優先調達の予定について伺いたい。
 - (2) 障害者就労施設等からの優先調達の今後の取り組み方について伺いたい。
- (要望) 障害者就労施設等からの優先調達は、障害者の自立促進に欠くことのできないもののため、今後も安定的な発注に取り組んでいただきたい。